

「環境家計簿」という見方です。例えば、二酸化炭素を減らす取り組みなどを進めています」と教えてくれました。



省エネルギーで長持ちのLEDライトを使うなど、環境にやさしい店内に博士もニコリ

進め! くるまのリサイクル

第2部 みんなで支える車のリサイクル

お店でも「H2O」を意識

自動車販売店では、環境を守る意識をより高める取り組みも行っています。今回たずねたこのお店でも、ホンダの自動車販売店すべてで行われている「環境家計簿」というものをつけています。中里さんは、「水道や電気、仕事で使う車のガソリン代などを毎月比べ、それらを金額だけならなく、環境にやさしくできているか」と

「環境家計簿」という見方です。例えば、二酸化炭素を減らす取り組みなどを進めています」と教えてくれました。



▲リサイクル券を見せながら説明してくれた高橋さん

リサイクル料金は3物品の適切な処理のために

それでは、リサイクル料金はどのように使われているのでしょうか。それは、リサイクル料金を支払ったときに受け取る「リサイクル券」に書かれた3物品をきちんと処理するために使われます。

ユーザーを事故のしやうげきから守る「エアバグ」や、カーエアコン用の「フロンガス」、金属などの資源回収後に残るクズ「シュレッダーダスト」の3物品を適切に処理するには専門の技術が必要です。支払われたリサイクル料金は、いったん

車のリサイクル窓口として

博士のまとめ

自動車販売店は、車を売るだけでなく、車のリサイクルとユーザーをつなぐ窓口として大切な役割を担っていることがよくわかったね。販売店の人たちがリサイクルについてきちんと説明してくれることで、車を買う人も安心してリサイクル料金を支払うことができるんだ。

「私たちが、車を買った中里健一さんが、ただでなく、長く安全に乗っていただくための整備や修理、もしもの事故にそなえる自動車保険など、いろいろなサービスをお客さまをサポートしています」と話してくれました。

リサイクル券を見ると、シュレッダーダストやエアバグ、フロン類ごとのリサイクル金額がわかるね。ユーザーが使用済み車として引きわたった場合はB券を受けとるよ



▲ていねいな新車の説明に博士も納得!



3 自動車販売編

自動車リサイクル博士が車のリサイクル現場をたずねるシリーズの第3回。今回は、車を買うときや、使用済み(廃車)になった車を引き取ってもらう自動車販売店にやってきました。実は、車がきちんとリサイクルされるためには、自動車販売店が大きな役割を果たしているんですよ。

ユーザーと

車のほとんどをリサイクル!



車のリサイクルを支える「リサイクル料金」

車を買うときにお金を支払い、リサイクルを支えるユーザー

長く大切に買った車も、やがて使用済み(廃車)になりリサイクルされます。そのとき使われるのが、ユーザーが車を買うときに支払った「リサイクル料金」です。このリサイクル料金は、どの車もみな同じではなく、主に車の種類で異なっており、その金額は普通車で1万円〜2万円くらいです。また、中古車として

売った場合はリサイクル料金は返ってきて、次にその車に乗る人がリサイクル料金を支払い、リサイクル券が引き継がれます。こうして、廃車になったときにリサイクル料金が使われます。



リサイクル料金が使われます。

リサイクルは車を買うときから

みがかでていることで、車はしっかりとリサイクルされるんですね。それは、自動車リサイクル博士と一緒に、ピカピカの車が並んだ自動車販売店をたずねてみましょう。

こちらにおうかがいしました!



おたずねした会社

ホンダライフ (ホンダカーズ 埼玉県央) 本社 (埼玉県日高市) 本支店 (埼玉県川越市) 本支店 (埼玉県川越市)

新車や中古車を販売するほか、長く安全に乗れるサポートも行っています。

<https://www.hondacars-saitamakenou.co.jp>

「販売」から「廃車」まで

いろいろなサービスでユーザーをサポート

自動車販売店では、お客さんに車を販売したり、使用済み(廃車)になった車を引き取ったりと、さまざまな役割もついています。今回たずねた「ホンダカーズ 埼玉県央 川越の場店」でも、出むかえてくれた中里健一さんが、「私たちが、車を買った中里健一さんが、ただでなく、長く安全に乗っていただくための整備や修理、もしもの事故にそなえる自動車保険など、いろいろなサービスをお客さまをサポートしています」と話してくれました。